



artcube
kakiuchi



取組み事例の紹介①

ジビエの現状と捕獲人材育成 ～ジビエハンターの育成～

垣内 規誠

株式会社 ART CUBE



プロフィール

- 社名：株式会社 アートキューブ
- 代表者名：垣内 規誠
- 所在地：京都府 京丹波町
- 国産ジビエ認証「京丹波自然工房」 第一号認証
- 国産ジビエ認証制度 認証委員
- ジビエハンター育成研修会 委員・講師
- 農水省 ジビエ利活用コーディネーター

シカ・イノシシの捕獲頭数の推移

被害防止等を目的とする捕獲が中心に行われ、シカ及びイノシシの捕獲頭数が大幅に増加している。

シカ：約13.5%

いのしし：約5.5%



※ シカは北海道のエゾシカを含む数値。

※ シカ及びイノシシのR3捕獲数は速報値(令和4年8月17日現在)の捕獲数の訂正等により今後変更があり得る。

(出典)「捕獲数及び被害等の状況等」(環境省)に基づき鳥獣対策室で作成

捕獲された有害鳥獣のジビエ利用の実態

- 全国の734処理加工施設において、令和3年度に処理されたジビエ利用量は2,127トンであり、平成28年度と比べて1.7倍に増加。

1. ジビエ利用頭数の推移



2. ジビエ利用量の推移





ジビエ ペットフード



ジビエ処理加工施設の数・分布等

○ 令和3年度に野生鳥獣の食肉処理を行った処理加工施設は全国で734施設。

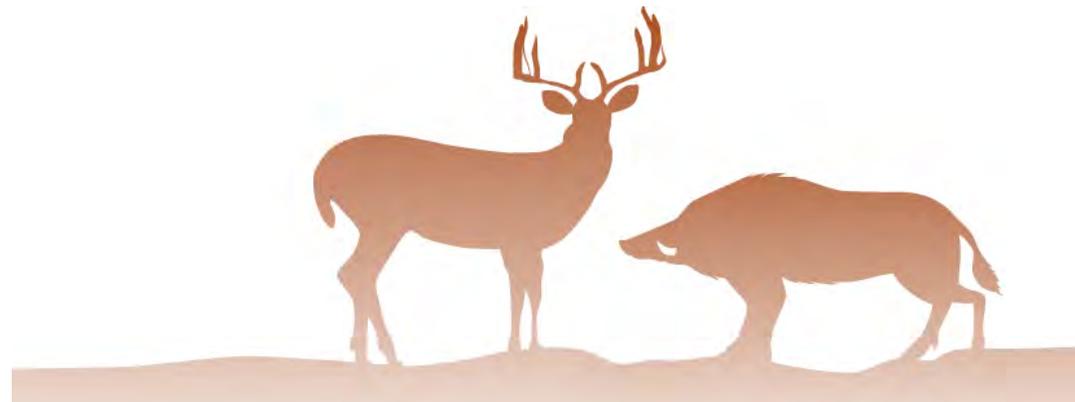


- 1位 北海道 94
- 2位 兵庫 51
- 3位 宮崎 36

※農林水産省大臣官房統計部調査「令和3年度野生鳥獣資源利用実態調査」
食肉処理業の許可を有する野生鳥獣肉の処理加工施設。稼働休止中の施設は含まれない

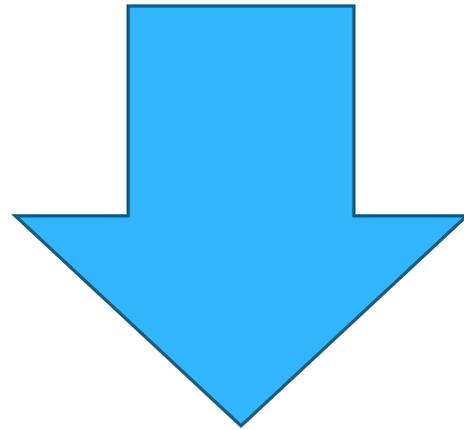
ジビエ拡大に向けた取り組み

- 令和元年度の水準から令和7年までに**倍増させる**。
- 目標達成に向け、需要開拓や**国産認証制度の普及を図る**とともに、**人材育成**やモデル地区の取組の横展開を進めるなど**安全・安心なジビエの供給体制の整備を推進する**。併せて、利用者向け産地情報のネットワーク化に取り組む。



まずは目的意識から

「趣味や有害駆除のための捕獲」



「消費者に提供するための捕獲」



～ジビエ利用には捕獲からの衛生管理が重要～

ジビエハンター



ジビエハンター

目的 この制度は、農林水産業等に係る被害防止のための鳥獣の捕獲に際し、食肉に適した方法で捕獲し、食肉処理施設に搬入するまでの衛生管理に関する知識を有する捕獲従事者を育成することにより、安全なジビエ（捕獲した野生のシカ及びイノシシを利用した食肉をいう。以下同じ。）を確保するなど、捕獲個体の利用率向上を図ることを目的とする。

（ジビエハンター育成研修会）スタート



研修カリキュラム（案）

- ①**総論** 野生鳥獣による被害の現状、野生鳥獣の利活用、捕獲者の責務・心構え、アニマルウェルフェアへの配慮
- ②**関係法令に関する知識** 鳥獣保護管理法、鳥獣被害防止特措法、食品衛生法（HACCP）野生鳥獣肉の衛生管理に関するガイドライン 国産ジビエ認証制度
- ③**捕獲から食肉処理施設に搬入するまでの衛生管理の知識**
食肉に適した銃による捕獲・罠による捕獲、止め刺し方法、衛生的な搬入方法
- ④**捕獲個体の異常確認**
捕獲した個体の異常確認 個体の記録方法、トレーサビリティ、異常確認の取扱方法
- ⑤**食品としての衛生管理、野外感染の可能性がある疾病に関する知識**
食品衛生管理の基本、食中毒、主な疾病（寄生虫、CWD、豚熱など）

一般社団法人エゾシカ協会

シカ捕獲認証制度

全国でシカ問題が常態化しており、各地で捕獲事業が実施されています。

効果的なシカ管理のためには、シカの生息状況、社会的制約、地理的状況等を考慮した地域主体の管理体制の構築が必要であり、その新たな担い手育成が急務となっています。

そこで、私たちは英国のシカ捕獲認証制度をモデルとして、

エゾシカを題材としたニホンジカの捕獲や管理に関係する方達のスキルを認証する取り組みを、2015年度からスタートしました。

2015年スタート

教育理念

この制度では、以下の3つの理念について実践できる人材を育成します。

- 1) 地域のシカ管理における**効率的かつ安全で人道的な捕獲**
- 2) 優れた食材であるシカ肉の**安全かつ持続的資源利用のための食肉衛生**
- 3) **地域主体管理**を実現する体制づくりのための**普及啓発**

資格認証

シカ捕獲認証 (Deer Culling Certificate: DCC) は講習と試験で構成され、シカの個体数調整を効果的に行なうための捕獲や管理に必要な、幅広い専門知識や技術を身につける機会を提供します。

☞ レベル1 (DCC1) : 知識を認証

☞ レベル2 (DCC2) : 技術を認証

受講対象者 (DCC1)

受講時に満18歳以上で、この制度に賛同する方。

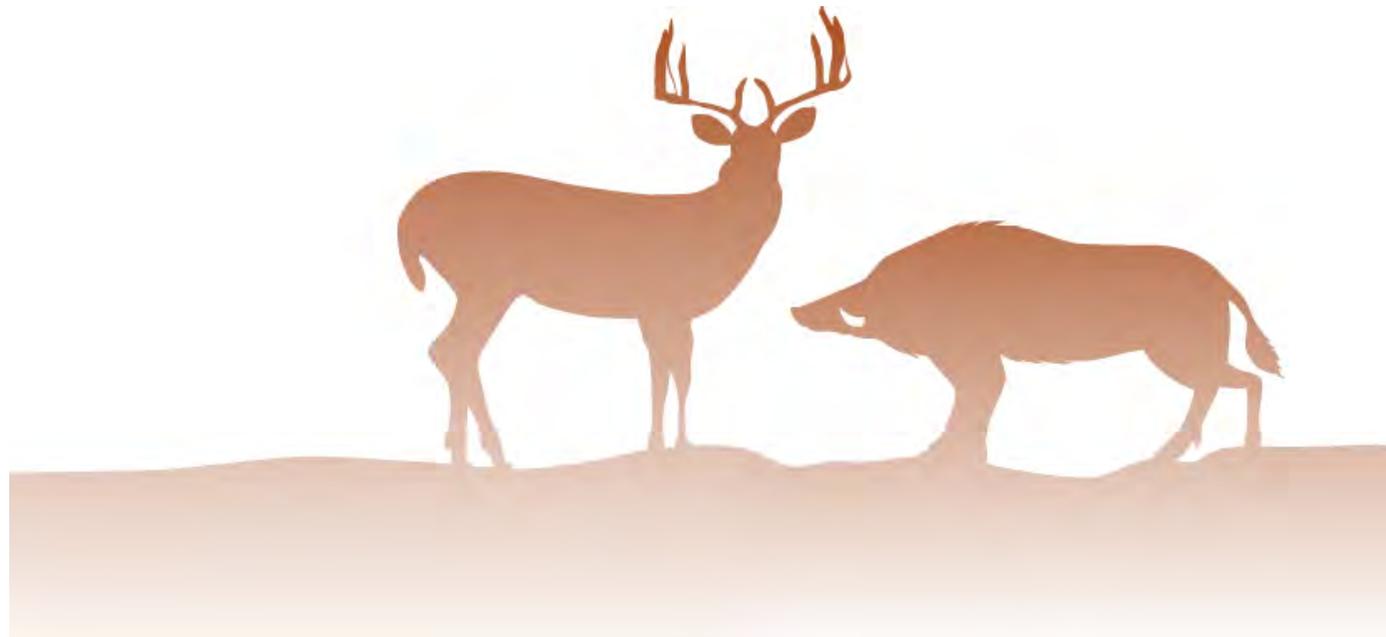
* DCC1 では、狩猟免許の有無は問いません。

鳥獣行政・林野行政職員、獣害対策民間職員、農業協同組合・森林組合職員、野生動物管理を学ぶ学生、シカ捕獲・シカ肉処理・野生動物管理に携わる方 etc.



ジビエの現状と捕獲人材育成

~ジビエハンターの育成~



株式会社 ART CUBE
垣内 規誠